

田中貴金属工業、中部地方に車載材料の技術開発拠点を開設

～ 自動車開発の中心である中部地方で、次世代自動車向け貴金属材料の開発強化を目指す ～

田中貴金属工業株式会社（本社：千代田区丸の内、代表取締役社長：岡本英彌）は、次世代自動車向け貴金属材料の開発を強化するため、中部地方での貴金属車載材料^{※1}の技術開発拠点として、本日より愛知県刈谷市に車載材料開発グループ分室を開設いたします。

同分室には、電子顕微鏡や元素分析装置などの機器分析装置や、顧客が分析試料の作成や材料選定を行うことができる試作設備を具備し、顧客と共に実験評価や技術打ち合わせをその場で行うことができるため、車載材料の開発ニーズに対して、初期段階からスピーディで臨機に対応することが可能になります。今後も必要に応じて設備機器の拡充を図る方針です。

当社では従来、材料の開発を関東地方の拠点でおこなっておりましたが、自動車開発の中心の一つである中部地方に技術開発拠点を開設し、関東地方の拠点と包括的に連携することで、顧客のニーズ把握から製品化までの開発のスピードアップを図ることができます。

電気自動車や燃料電池自動車を含めた次世代自動車のパワートレイン^{※2}が急速に変化する中、貴金属の用途も今後大きく変化することが予想されます。こうした急激な技術動向に追従し、当社の担うべき役割を果たすには、営業および技術の両面で顧客に密着した活動が必要であると、当社は考えております。今回開設する分室によって、次世代自動車向け貴金属材料の迅速な開発を目指すとともに、業務の充実を図り、顧客の技術開発の支援体制を強化してまいります。

■田中貴金属工業株式会社について

本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 岡本 英彌

創業：1885年

設立：1918年

資本金：5億円

従業員数：1,653名（2009年3月現在）

売上高：8,290億円（2009年3月期）

事業内容：貴金属地金（白金、金、銀ほか）及び各種工業用貴金属製品の製造・販売、
輸出入及び貴金属の回収・精製

HPアドレス：グループトップ <http://www.tanaka.co.jp>

工業製品トップ <http://pro.tanaka.co.jp>

※1 車載材料…車両搭載を目的とした製品で使われる材料：各種センサー用電極材料、電装材料、車載向け半導体材料、排気ガス浄化用触媒、燃料電池用触媒など

※2 パワートレイン…動力をタイヤへ伝える伝達駆動システムの総称：エンジン、クラッチ、トランスミッションなど